

転送ソフト（SWT Monitor）の使用方法

ご使用前に

- ◎ 本「転送ソフト（SWT Monitor）」（以下「転送ソフト」）は株式会社サンコウ電子研究所（以下「弊社」）製デジタル膜厚計“SWT & SAMAC シリーズ”専用の無償配布ソフトです。
- ◎ 本「転送ソフト」に関し、一切の質問・サポートなどのお問い合わせに弊社は回答の義務を負わないものとします。
- ◎ 本「転送ソフト」は USB 転送ドライバおよび Microsoft^{※1} Excel 2013/2016/2019/2021/365^{※2} のいずれかがインストールされている環境下でご使用下さい。但し、同一環境下での動作を保証するものではありません。
- ◎ 本「転送ソフト」を商行為に使用することはできません。（レンタル・擬似レンタル行為や第 3 者への販売を禁じます。本ソフトの著作権は弊社に帰属します）
- ◎ 本「転送ソフト」の使用により生じたいかなる損害についても弊社はその責任を負いません。
- ◎ 本「転送ソフト」の改変、またはリバースエンジニアリング等の行為を行うことはできません。
- ◎ 本「転送ソフト」は日本国内のみでの使用とします。
- ◎ 本「転送ソフト」は予告せず改良、変更することがあります。

はじめに

この度は弊社の膜厚計「SWT & SAMAC シリーズ」をご購入いただき誠にありがとうございます。

本器は「転送ソフト」により、Microsoft^{※1} Excel へ測定データの転送が行えます。

「転送ソフト」を使用するためには、あらかじめ「SWT & SAMAC シリーズ USB 転送ドライバ」および Microsoft^{※1} Excel 2013/2016/2019/2021/365^{※2} がインストールされている環境が必要です。

なお、この「使用方法」は、弊社ホームページ上からも PDF ファイルとしてダウンロードできます。

1. 「SWT & SAMAC シリーズ USB 転送ドライバ」のインストール

最初に、本器で使用する USB 転送ドライバをインストールして下さい。

インストール方法は、「SWT & SAMAC シリーズ USB 転送ドライバのインストール.pdf」をご参照下さい。

ドライバおよびインストール方法は、SWT-NEO II、NEO III および SAMAC-Pro に付属している CD の中に入っています。また、弊社ホームページ上からもダウンロードできます。

なお、製品に付属しているドライバは、Windows^{※1} 7, 8, 8.1, 10, 11 の 32/64 ビットのパソコンで使用できます。

2. 転送ソフトの入手、解凍（SAMAC シリーズにも使用可能）

「転送ソフト」（圧縮ファイル）は弊社ホームページからダウンロードして下さい。

[zip] 形式をダウンロードし、任意の場所に解凍して下さい。

解凍されるファイルは 2 つあり「SWT Monitor_V11.03.xls」と「SWT Monitor_V12.02.xls」です。

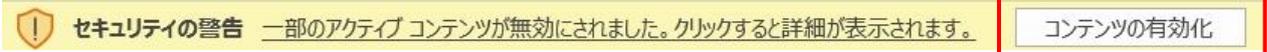
まず、「SWT Monitor_V11.03.xls」ファイルを開き、画面が正しく表示されない時は、次に「SWT Monitor_V12.02.xls」ファイルを開いて下さい。

※1：Windows および Microsoft は米国マイクロソフト社の登録商標です。

※2：Excel 365 は 2022 年 7 月に動作を確認しています（今後、Excel が更新された場合の動作は不明）。

3. 転送ソフトの起動と通信

- ・「SWT Monitor.xls」ファイルを実行します。
- ・セキュリティの警告が表示される場合は「コンテンツの有効化」をクリックして下さい。

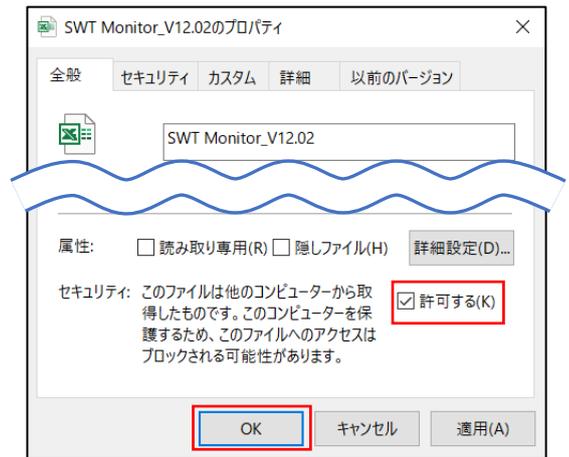


(注1) Excel のバージョン 2203 以降ではセキュリティが強化され、以下の警告が表示されます。

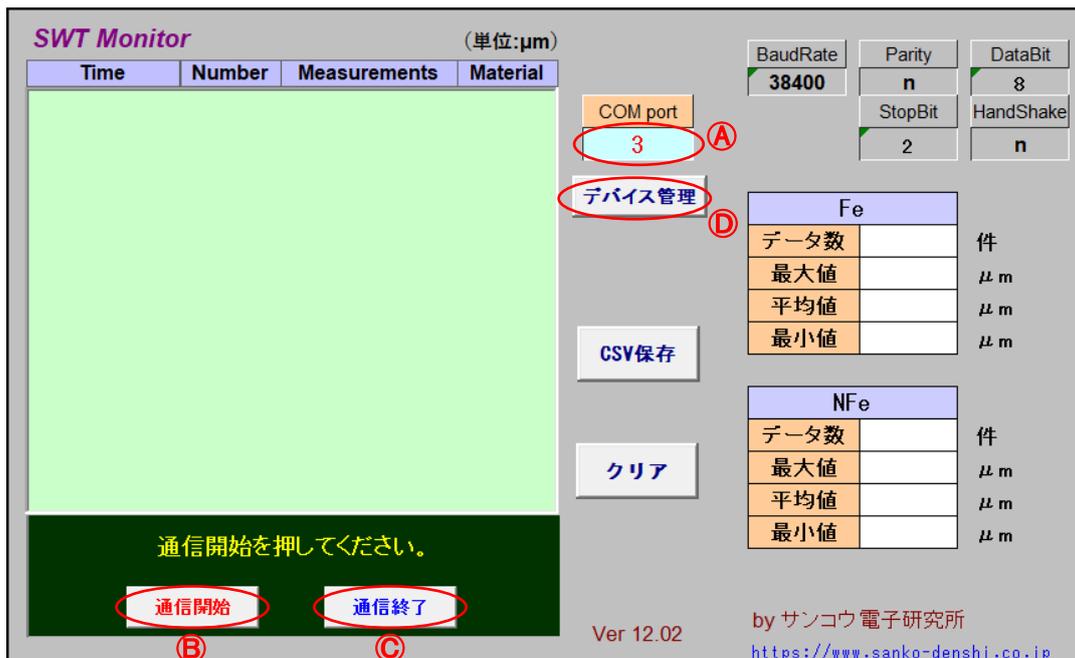


マクロのブロックを解除するには下記の操作を行って下さい。

- ① 実行中の「SWT Monitor.xls」ファイルを閉じます。
- ② 「SWT Monitor.xls」ファイルを右クリックします。
- ③ メニューから「プロパティ」を選択します。
- ④ 「全般」タブ下部にあるセキュリティの「許可する」にチェックを入れます。
- ⑤ **OK** をクリックし、再び「SWT Monitor.xls」ファイルを実行します。



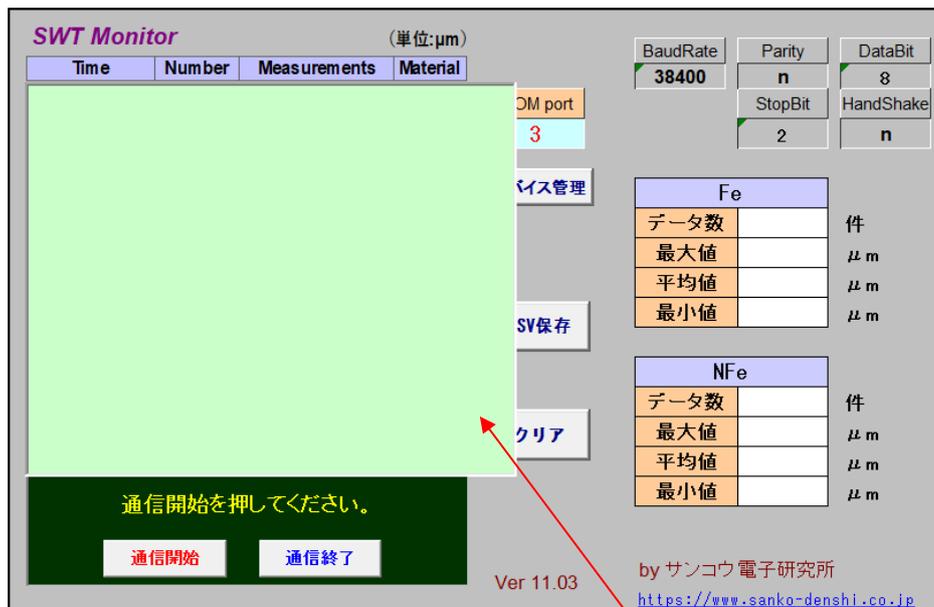
- ・ SWT Monitor 画面が開きます。
- ・ COM ポート番号を「COM port」**①**に入力し、Enter キーを押します。
- ・ **通信開始** **②**をクリックします。「通信できます」が表示すればデータ転送が可能です。
- ・ **通信終了** **③**をクリックすると本器との通信が終了します。



- ◆ COMポート番号が不明な場合は「デバイス管理」①をクリックし、デバイスマネージャーを起動後、画面上の「ポート (COM と LPT)」をクリックして COMポート番号を確認します。

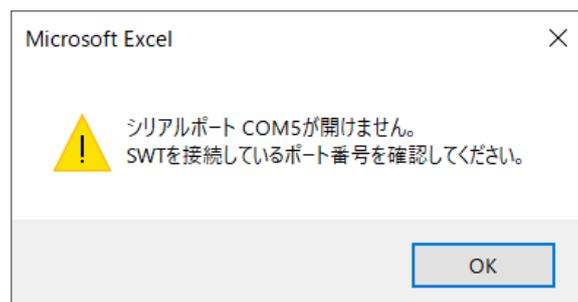


- (注 2) パソコンのディスプレイ設定により「転送ソフト」のバージョンを選択して下さい。
「SWT Monitor_V11.03.xls」ファイルを開いて、以下のように画面が正しく表示されない時は、「SWT Monitor_V12.02.xls」ファイルを開いて下さい。



リアルタイム転送の表示画面がはみ出している。

- (注 3) パソコンと膜厚計が USB ケーブルで接続されていない場合や COMポート番号の入力が間違っている場合に「通信開始」②をクリックすると以下の警告が表示されます。パソコンと膜厚計を USB ケーブルで接続し、改めて COMポート番号を確認して下さい。



4. データ転送

- ◆ 膜厚計の設定方法は、各製品の取扱説明書をご参照下さい。

<リアルタイム転送>

- ・測定するたびにデータが転送され、画面に表示されます。また、「データ数、最大値、平均値、最小値」が更新されます。
- ・「クリア」**(E)**をクリックすると転送済みデータが画面から消去されます。

SWT Monitor (単位:μm)

Time	Number	Measurements	Material
16:29:29	1	299.1	Fe
16:29:30	2	299.0	Fe
16:29:31	3	299.2	Fe
16:29:33	4	301.6	Fe
16:29:34	5	300.3	Fe
16:29:37	6	1040.0	nF
16:29:39	7	1050.0	nF
16:29:40	8	1040.0	nF
16:29:42	9	1040.0	nF
16:29:44	10	1050.0	nF

COM port: 3

デバイス管理

CSV保存 **(F)**

クリア **(E)**

通信できます。

通信開始 通信終了

Ver 12.02 by サンコウ電子研究所 <https://www.sanko-denshi.co.jp>

Fe		件
データ数	5	
最大値	301.6	μm
平均値	299.8	μm
最小値	299.0	μm

NFe		件
データ数	5	
最大値	1050.0	μm
平均値	1044.0	μm
最小値	1040.0	μm

- ・「CSV保存」**(F)**をクリックすると転送済みデータが保存できます。任意の保存先を指定し、ファイル名をつけて保存して下さい。

名前を付けて保存

「ドキュメ...」 > SWT転送データ

検索: SWT転送データの検索

整理 ▾ 新しいフォルダー

ダウンロード ↑

デスクトップ ▾

ファイル名(N): SWT転送データ_20221027.csv

ファイルの種類(T): すべてのファイル

作成者: サンコウ電子研究所 タグ: タグの追加

保存(S) キャンセル

- ◆ CSV ファイルで保存する場合は、ファイル名の末尾に “.csv” を入力します。

Microsoft Excel

CSVファイルを作成しました。

C:\Users\%m-ohn\Documents\SWT転送データ\SWT転送データ_20221027.csv

OK

<メモリデータ転送>

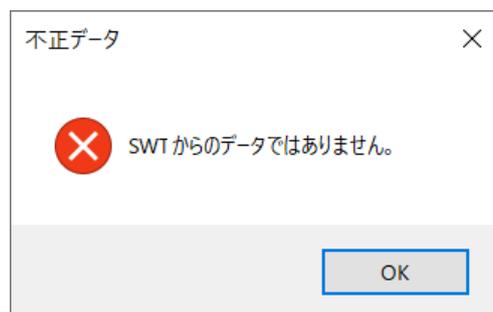
- メモリデータを転送すると「転送ソフト」内に新たなシートが作表されます。新たなシートには、測定データに加え「転送日時」、「データ数」が表示されます。

グループ	ブロック	セクション	測定値	測定値									
01	01	01	Fe 52.0	Fe 51.8	Fe 52.0	Fe 51.6	Fe 51.5	Fe 51.8	Fe 51.8	Fe 52.1	Fe 51.8	Fe 51.9	
01	01	02	Fe 300.8	Fe 300.3	Fe 299.1	Fe 300.6	Fe 300.9	Fe 299.6	Fe 299.2	Fe 300.7	Fe 298.9	Fe 299.4	
01	01	03	nF 1020.0	Fe 1010.0	Fe 1020.0	Fe 1010.0	Fe 1010.0	Fe 1010.0	Fe 1020.0	Fe 1010.0	Fe 1010.0	Fe 1010.0	
01	01	04	nF 59.6	nF 60.2	nF 60.1	nF 61.0	nF 60.1	nF 60.1	nF 60.6	nF 60.2	nF 61.3	nF 60.6	
01	01	05	nF 310.4	nF 309.9	nF 310.9	nF 310.5	nF 310.6	nF 311.1	nF 310.3	nF 310.4	nF 310.7	nF 310.2	
01	01	06	nF 1030.0										
01	01	07	Fe 50.1	Fe 50.3	Fe 50.4	Fe 50.8	Fe 50.0	Fe 50.7	Fe 50.4	Fe 51.0	Fe 50.5	Fe 50.5	
01	01	08	Fe 301.6	Fe 300.3	Fe 301.1	Fe 299.2	Fe 299.8	Fe 299.3	Fe 300.4	Fe 300.5	Fe 299.2	Fe 298.9	
01	01	09	Fe 1020.0	Fe 1010.0	Fe 1010.0	Fe 1020.0	Fe 1010.0	Fe 1020.0					
01	01	10	nF 59.4	nF 58.5	nF 59.4	nF 59.3	nF 58.5	nF 59.1	nF 60.1	nF 58.9	nF 59.2	nF 59.0	
01	02	01	nF 309.3	nF 309.4	nF 308.7	nF 309.2	nF 308.9	nF 308.9	nF 310.7	nF 309.5	nF 309.8	nF 308.7	
01	02	02	nF 1030.0	nF 1030.0	nF 1020.0	nF 1030.0	nF 1020.0	nF 1020.0	nF 1030.0	nF 1030.0	nF 1020.0	nF 1020.0	

- ◆ 転送データは Excel シートに作表されますので、データの分析や加工にご利用いただけます。

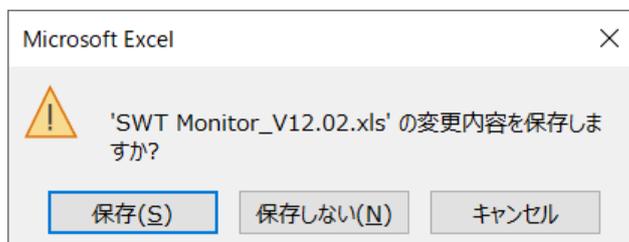
(注 4) データが格納されてない状態でメモリデータ転送を行うと右図のエラー画面が表示されます。

(SWT-8000/8000 II シリーズ等の旧モデルからデータが転送された場合も、同様のエラー画面が表示されます。)



5. 転送ソフトの保存と終了

- 「転送ソフト」の保存は、通常の Excel ファイルを保存する方法と同様の操作です。
例) 「ファイル」をクリックし、「名前を付けて保存」を選択し、ファイル名をつけて保存します。
- 「転送ソフト」を閉じると下記のメッセージが表示されますので、保存の有無を選び終了します。



以上

V11.03/V12.02

Dec. 2022